

江工会会報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

「母校で先生をやってみませんか」

会 長 土 井 正 人

(工業化学科 昭和三十九年卒業)



令和二年あ
けましておめ
でとうござい
ます。

で公演されます。大蛇（オロ
チ）五十頭が出て大迫力とな
るでしょう。関東の方は是非
この機会にご鑑賞ください。

皆様には健やかに新春をお
迎えることと、お慶び申しあ
げます。

江津市においては、新庁舎
の建設が来年三月の完成を目
指して少しずつ型を見せてい
ます。

新しい時代の区切りとなる
ことでしょう。

現庁舎は解体、再利用を含
め多くの意見を募集していま
す。卒業生の皆様も良き案が
あればご提言下さい。

皆様ご存じの石見神楽が、
文化庁の日本遺産に認定され
ました。今年八月二十五日パ
ラリンピックの折、国立劇場

さて、先般各支部に、ご寄
附のお願いの文章が届いたと
思いますが、趣意書にある様
に、母校の後援会が発足し、
石見地域唯一の工業高校の存
続と発展を願い活動されるな
かで、本校への実利支援とし
て募金活動がなされ、すでに
各企業から百万円を超える寄
付が寄せられています。

卒業生会として傍観してい
る訳にはいきません。逆に率
先してやらなければならぬ
のかもしれない。

改めて卒業生の皆様に母校
存続と発展のためご協力を賜
りたくお願い申し上げます。

ろでございます。

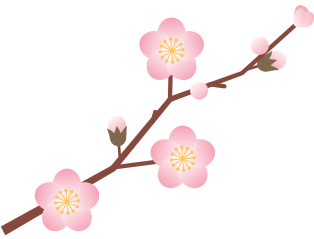
ご寄附、募金の締め切りを
三月末としておりますので重
ねてよろしくお願いいたします。

いま一つ「母校で先生を
やってみませんか」ですが、
今、学校現場は教員が不足し
ています。特に実業科（機械、
電気、建築科など）が顕著
です。

そこで《特別免許状》とい
う制度が設けられました。
高校卒でも、その教科の実
務経験が三年以上あれば可能
ということですよ。

少しでも関心のある方、詳
細は本校の校長に直接連絡を
取ってみてください。

多いに期待して待っています。
それでは本年も皆様にとつ
て素晴らしい年になりますよ
うお祈り致しております。



「母校を誇れる学校づくり」

校長 田 村 実

(電気科 昭和五十五年卒業)



今年度から
着任いたしま
した校長の田
村実としま
す。どうかよろしく願いい
たします。

江工会員の皆様には、新春
をお元気で迎えのこととお
慶び申し上げます。平素より、
母校の教育活動に格別のご理
解と温かいご支援を賜り、誠
にありがとうございます。

さて、令和の時代となり、
建築・電気科、機械・ロボッ
ト科と学科改編して二期目の
卒業生を送り出します。本校
の教育活動の魅力は、二つの
学科がそれぞれの持ち味を出
した少人数指導にあります。

部活動では、ボート部、ソ
フトテニス部、弓道部が活躍
しています。高校総体では、
生徒数が少ない学校をBグ
ープとした中で、本校男子
はBグループ二位となり、敢
闘賞をいただきました。就
職・進学活動も堅調に進んで

おり、ほぼ全員の行き先が決
定しております。就職に関し
ては、約七割が地元就職を決
めており、地域産業を担う人
材となつてきています。

本校は、平成三十年から、
県の支援事業である「高校魅
力化推進事業」に取り組んで
きました。今年度から、三カ
年事業の二期目に入り、高校
魅力化がさらに進んでいます。

「つながる事業（地域との
連携）」「みがく事業（技術力
の向上）」「つたえる事業（生
徒募集）」の三つの柱を中心
に事業を展開しています。

それぞれの一例を紹介しま
す。「つながる事業」の中では、
地域と連携した問題解決型課
題研究を実施しました。昨年
度「建築甲子園」で準優勝し
た構想を、今年度はその実現
に向けて、江津本町にある空
き家を改修し、旅館業の簡易
宿泊所許可証を取得しました
(写真)。県内では初、全国的

に見ても珍しい取り組みです。
「みがく事業」の中では、資
格指導の充実を図り、高校生
では合格の難しい建築CAD
検定准一級に二名の合格者を
出しました。「つたえる事業」



では、県外生徒募集を目的としたUターンインターン東京に参加し、県外生徒募集を試みました。その際、江工会関東支部より激励のお言葉をいただきました。

新しい学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が示されており、より一層、地域と連携を図る教育が大切になります。今後も現在実施している様々な取り組みを通して、育てたい生徒像を地域の人々と共有しながら連携し、地域や社会に貢献する人材を育成することが本校の使命であります。そして、意志ある若者が、持続可能な地域

教育活動をご理解いただき、きめ細やかで一人一人が活躍できる本校を、県内外問わずご紹介いただければ幸いです。本校に関する情報は、ホームページの最新情報として、毎日更新し情報発信しておりますので、ご覧いただければうれしく思います。

末筆になりましたが、これからもかわりませず、江工会の皆様が、母校である江津工業高校を誇れる学校作りをしていきたいと思います。

社会を担ってくれることを期待しています。平成三十年二月に、県教育委員会が「県立高校魅力化ビジョン」を策定しました。魅力ある高校と地域づくりを推進するために、学校の所在する市町村などと連携して、「高校魅力化コンソーシアム」を設立することとなりました。令和四年度には、すべての県立高校で構築する計画となっておりますが、本校は、令和三年度までにコンソーシアムを構築し、これを土台として、一層地域と連携した島根らしい魅力ある学校づくりを進めます。

江工会の皆様には、本校の

皆様ご承知の通り、昨年十月二十二日に世界各国から来賓をお迎えして荘厳な雰囲気の中、即位礼正殿の儀が行われ、第126代目の天皇としての即位を宣明されました。

この時、天皇は日本の歴史と伝統の象徴なのだと思われてきました。そして、世界はこの日本の歴史と伝統が継承されていることに敬意を払っているのだと感じました。私は一連の儀式の中継を見ながら、「江工会」に思い

今後ともご支援やご協力のほどよろしく願っています。すとともに、江工会がますます充実発展されることを祈りいたします。

新年あけましておめでとうございます。

江工会会員



「令和二年に思う」
副会長 福田 稔
(工業化学科 昭和五十三年卒業)

を馳せていました。「江工会を愛していますか」と聞かれれば、もちろん胸を張って「はい」と答えます。わが「江工会」もまた歴史と伝統を誇っています。しかし、その一方で厳しい現実があるのも事実です。この表は、江津市のホームページで二〇一八年五月三十日に更新された小・中学校の児童生徒数です。地元中学校の卒業者数の減少スピードは鈍化しているとはいえず、少子化傾向は続いていきます。そこで、島根県教育委員会のホームページを見ると、「将来を見通した教育環境の整備」の具体的な取り組みとして、各高校において、地域と協働しながら魅力化・特色化を図ることを推進しているとありました。ここで注目したいのが「地域と協働して」です。江津市の基幹産業を支える数多くの優秀な人材を輩出している「江工会」として、何か「協働」できることはないかと考えてもよいのではないのでしょうか。

輝かしい歴史と伝統の上に胡座をかいて、具体的な何らかの働きかけについて話し

を馳せていました。「江工会を愛していますか」と聞かれれば、もちろん胸を張って「はい」と答えます。わが「江工会」もまた歴史と伝統を誇っています。しかし、その一方で厳しい現実があるのも事実です。この表は、江津市のホームページで二〇一八年五月三十日に更新された小・中学校の児童生徒数です。地元中学校の卒業者数の減少スピードは鈍化しているとはいえず、少子化傾向は続いていきます。そこで、島根県教育委員会のホームページを見ると、「将来を見通した教育環境の整備」の具体的な取り組みとして、各高校において、地域と協働しながら魅力化・特色化を図ることを推進しているとありました。ここで注目したいのが「地域と協働して」です。江津市の基幹産業を支える数多くの優秀な人材を輩出している「江工会」として、何か「協働」できることはないかと考えてもよいのではないのでしょうか。

平成30年度 児童生徒数の一覧 平成30年5月1日現在の市内の小・中学校の児童生徒数をお知らせします。

小学校の児童数一覧表							
小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計
郷田小学校	18人	11人	14人	10人	25人	24人	102人
渡津小学校	11人	14人	23人	11人	13人	16人	88人
江津東小学校	15人	13人	17人	15人	17人	21人	98人
川渡小学校	12人	11人	13人	6人	17人	14人	73人
津宮小学校	52人	44人	51人	42人	52人	60人	301人
津津小学校	42人	35人	38人	49人	40人	38人	242人
桜江小学校	20人	19人	14人	16人	23人	18人	110人
合計	170人	147人	170人	149人	187人	191人	1,014人

中学校の生徒数一覧表				
中学校名	1年	2年	3年	小計
江津中学校	76人	71人	69人	216人
江東中学校	19人	18人	22人	59人
青陵中学校	80人	75人	82人	237人
桜江中学校	13人	15人	21人	49人
合計	188人	179人	194人	561人

ります。合ってもよい時ではないでしょうか。「江工会」として守るべき歴史と伝統はきちんと継承する。その上で、社会情勢に合わせて変えるべきところは変えていく。そうすることが、「江工会」の更なる発展に繋がっていくのではないかと考えています。

この度、「江工」の後援会が発足し、今井産業株式会社の今井久師社長が会長に就任されました。これをいい機会にとして、また生徒数減少のピンチをチャンスととらえて、我「江工会」がますます発展していくことを切に願っております。

江工会支部だより

江津市役所支部

「ものづくりに対する 思いを糧に」

支部長 佐々木 克

(建築科 昭和五十四年卒業)



令和二年を
迎え、会員の
皆様にはご健
勝のこととお
喜び申し上げます。

昨年は、台風十五号、十九号と立て続けに発生し、各地に大きな被害をもたらしました。今回被害を受けられた方々には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、私は江工会江津市役所支部に入会して、三十八年目を迎えます。私が入会した当時の市役所支部にはたくさん先輩会員がおられ、私が最後尾で会員番号が五十番でした。A・M・C・E各科満遍なくおられ、少数派ではP科出身の方もおられました。現在の会員数は消防職員を合わせた総数十四名で、うち半

数近くがA科出身者という状況です。配置としては、土木・建築・水道という技術系の職場で業務にあたっております。

我々の仕事は、まちづくりの計画を作る仕事、公共建築物の建築及び維持修繕、道路の修繕をする仕事など幅広く様々です。自分の仕事内容を説明すること、自分のつくる施設が利用する人にどのような役立つのか考えること、そのようなことで自分の仕事に対する「思い」を認識することができるとは思いません。

技術力の習得には、机上のみでなく、現場における経験が重要であることは言うまでもありませんが、地方自治体や市町村の技術系公務員は減少し、若手職員が少ない年齢構成となっており、先輩から後輩へという技術の伝承が難しくなっているだけでなく、少ない若手職員は日々の業務に追われ、なかなか現場に出る機会が持てない状況です。江津市役所においても例外で

はありません。

江津市では、毎年ポリテクの住居環境科と工業高校の建築科の生徒数名をインターンシップの受け入れをしております。昨年もそれぞれ二名の実習を実施しました。ポリテクの学生は就職先が内定していることもあり、将来を見据えたうえで就業体験先を希望してきており、仕事に対する「思い」や意気込みが感じられました。一方、工高生は進路の選択肢の一つとしての経験であったと思います。進路を決めるときは、自ら選んだ進路に「誇り」や「魅力」「やりがい」を見出し出してもらったことが重要だということを示して就業体験を終えました。

ものづくりを土台とし、技術・技能を基に産業戦士を育てむという校風は昔も今も変わらないと思います。今春、本校を巣立ち新社会人となられる新会員の皆様におかれまして、ものづくりに対する思いを糧に成長されることを期待いたします。最後にになりましたが、江工会員の皆様のさらなるご活躍

とご健勝を祈念いたしますとともに、江津市役所支部へのご指導、ご協力をよろしくお願いたします。



平成31年度懇親会

弥栄支部

「雑感」

支部長 森 下 政 昭

(建築科 昭和五十三年卒業)



江工会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます

皆様方には新年を迎え、益々ご健勝のこととご推察申し上げます。

昨年は平成最後の年、そして令和という新しい幕開けの年でありました。

日本国内は祝賀ムードであふれ、通常のゴールドデンウィークを上回る超大型連休となりましたが、この期間を満喫できるのは一握り、農家にとっては農作業で慌ただしい時期であったと思います。また、十二年に一度の亥年選挙の年でもあり、統一地方選挙と参議院選挙が重なる年でもありました。

弥栄支部も毎年欠かさず年一回二月から三月に総会を行っていましたが、支部長である私の職務柄(選挙管理委員会事務局)、総会を開催できず、弥栄支部の皆様にご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

私も高校を卒業して四十二年、ついに還暦を迎えることとなりました。思えば、江津工業を卒業して数年した頃、職場の先輩達と弥栄支部の前身であった卒業生会としての飲み会を始めたのがきっかけでしたが、月日の流れるのは早いなあと実感しております。その頃の写真を引っ張り出

して眺めてみると、今とは想像もつかないような自分や先輩方がいます。

弥栄町もこの間予想以上の早さで人口減少、少子高齢化が進み今やこの会を存続していくのが困難な状況にさえなってきた今日ですが、自然消滅だけは回避し、何らかの方向を考えなくてはならない時期にきている次第です。

新年早々暗い話になりましたが、江工会本部並びに会員皆様方の益々のご健勝、ご発展をお祈り申し上げ弥栄支部のご挨拶とさせていただきます。

関東支部

これからの「江工会と江津工業高校」について

副支部長 勝 田 友 治

(電気科 昭和三十八年卒業)



明けてもうおめでとうございます。会員の皆様は新しい元号・令和二年で気持ちも新たな新年を迎えられた事

と思っています。

昨年四月より母校卒業生(E五十五卒)の田村 実様が母校の校長に就任されました。誠にありがとうございます。新しい和暦と共に母校の新しい時代を築いて頂けると期待しています。江工会としても今まで以上に強力な支援をすべきと考えます。田村校長は江工会会員から母校校長として二人目です。

初代はM三十二卒の高野武士様でした。

関東支部は会員数・約千名、役員十二名、連絡員二十一名、顧問六名、役員会(合同役員会を含む)・年九回開催しています。総会出席者・約七十名、ゴルフ同行会(年二回、M五十三卒、湯浅様が幹事)・約十五名の参加、野山散策会(年二回、A四十卒、河野様が幹事)・約十名の参加です。江工会関東支部の各種行事はHPに記載してありますので是非、ご覧ください。

会員の高齢化が進んでいます。特に若い会員の総会出席、各種同好会への参加を期待していますので若い会員・未加入の会員をご存じの方が

おられましたら役員にご連絡ください。一人でも多くの会員を探していますので、皆様のご協力をお願い致します。

関東支部は全国にある支部の中で最も行動力のある支部だと考えています。また全国にある各支部の活性化(各支部活動の活性化、特に活動休止中の支部を復活させる等)を、母校の発展と共に期待しています。江工会本部のご指導・ご支援を中心に是非お願い致します。

関東支部から江工会の更なる活動強化する為に、四年前から提案した会則改善(案)が昨年の本部理事会・総会でやっと議題に上がりました。現在、本部役員で協議・検討をされている事と考えます。五月開催の本部理事会・総会で重要な議題になると考えますので各支部と前向きな協議が出来る事を期待しています。会則改善(案)の事前配布(本部理事会・総会前に郵送等)をお願い致します。江工会本部指導・各支部の協力で更なる江工会の飛躍・発展を期待しています。石見地区産業界による母校

OB・OG組織として、母校後援会が昨年発足しました。

会長は今井久師様(今井産業代表取締役社長)です。副会長は土井正人様(江工会会長)他三名、会員は二十四名、顧問六名です。

地元企業の更なる活性化、事業拡大に伴う人材確保、新規参入企業の人材確保等により、母校の更なる活性化等が期待されます。また、地元企業へ就職する事で将来の人口流出にも歯止めがかかると考えられます。

現在、島根県内には 出雲地区に松江工業高校、出雲工業高校の二校、石見地区に江津工業高校、計三工業高校。石見地区の産業活性化の旗手として大変重要な江津工高です。特に江津工業団地への新規参入企業は江津工高卒業生の採用を考えておられるはず

です。卒業生の地元就職率が六十%を超えて、地元就職率は石見地区の高校で最大と思われま



平成31年度関東支部総会

一杯になり、二期工事を開始されています。その結果、新規参入企業の進出が有望です。

参考資料・高等学校学習指導

要領の改訂のポイント

1. 改訂スケジュール…平成三十一年度から先行実施、令和四年度から完全実施。
2. 基本的考え方…

① 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を

育成。

② 知識。技能の習得と思

考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視。

③ 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

3. 工業科改訂の趣旨及び要点

4. 工業科の目標
5. 工業科の内容構成



関西支部

「新たな挑戦に向けて」

副支部長 堀 越 保 幸

(建築科 昭和五十一年卒業)



江工会員の皆様には、令和になり初めての新春をお健やかに迎えのことと存じます。

平成二十七年まで関西支部で副支部長を、その後、東京転勤により関東支部で三年半

お世話になり幹事役を、そして、昨年初め、大阪転勤で関西支部総会において再度、副支部長を拝命いたしました。越でございます。改めましてどうぞよろしく願っています。

ご周知の通り、少子高齢化により、島根県内の高校生徒数は、私達の在校時と比較し、三・四割程度とも言われています。

若年層の入会が極めて少ないこと。在籍会員数は年々減少傾向にあること。支部総会参加者も現状維持ないしは減少傾向。これらは関西・関東支部においても共通の課題であります。

若い世代の新規加入による支部会員の増大が望めない時代となった今、新卒者や若年層の会員勧誘活動は従来通り継続しながら、現状会員数の維持確保、そして同級生・先輩・後輩会員世代の輪の拡大へ向けた活動へと軸足を切り換える時代に入ったものと考えます。

関西支部では来々 令和三年は第六十五回の記念支部総会が予定されており、事務局

からの案内ハガキや役員からの呼びかけでは限界があり、より具体的な施策を以って挑戦して行かなければならないと痛感します。

そこで今年からは従来からの活動に加えて、関西・関東両支部での在籍経験を生かし、各支部での試みや施策を融合進化させて現状会員の維持と増員へ向けた「和と輪」の新たな取り組みに挑戦したいと考えます。

① H P (ホームページ関西支部版) 開設・関東支部では十数年前に H P を開設、会員相互で情報交換や親睦に活用。関西支部でも会員のみならず卒業生や地域への情報発信と共有に向け早期立上げ。

② 「連絡員制度」…関東支部は「連絡員」を指名し、会員動向の情報や総会出席勧誘など役員・事務局以外でのキメ細かい連絡網を確立されており、関西支部でもその運用を検討。

③ 各支部との連携強化…全国各支部との会員情報

の共有や同級生・同窓生の所在確認等、地域並びに人的ネットワークの構築。」

④ 総会・親睦会を合同同窓会へ…同級生・先輩・後輩同志の元氣確認の会、在学時の思い出を語る会、ふるさと島根石見へ郷愁の会的な卒業生・会員が参加しやすい魅力的な同窓会としてリメイク。

以上を実行しながら、一層の支部活動の活性化により多くの会員方々に参加頂いて江工会の発展に寄与して行きたいと思えます。

今後共 各支部の皆様にはご指導、ご支援、ご協力ほど宜しく願います。共に、江工会会員の皆様方の益々のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。

山口県支部

「江工会の発展を祈願」

支部長 大 屋 節 雄

(工業化学科 昭和三十八年卒業)



皆様、明けましてお目出とうございませす。

元号もいよいよ令和新年となり、改めて気持ちを切り替えた年を迎える事ができました。日本に生まれていてよかったと再認識したところですよ。

このところ、江津工業高校卒業の同級生、先輩後輩とは、江工会員を結ぶ縁でさまざまな場所で懇親をしており、同高卒の友を大事に、お互いに健康でまたの再開を楽しみにしているところです。江津工業を卒業している事で友が沢山おり、友との絆を結ぶ事が出来、人生折り返しの折り返しを過ぎた私にとっては、考え深いものがあります。

昨年五月十一日開催の江工会本部の総会に江津に赴きました。懇親会ではいつものメンバーと再開でき、元気でご



活躍している方々のお話をきき大変参考になりました。

こちら山口県支部では、昨年四月二十一日に山口湯田温泉ホテル翠山荘で山口県支部総会として、一泊泊まりで湯田の温泉につきりゆかた姿の総会となりました。

こじんまりした会ではありましたが十五名の参加者でアットホームな総会となりました。集合写真はホテルの中心で撮りました。

総会は、毎年各地区が持ち回りで開催しており、昨年の開催は山口地区の担当でした。今年も岩国地区の担当と



山口県支部総会

なり、令和二年四月～五月に総会を開催すべく一月二十六日に運営委員会を開催し、細部を詰める予定でいます。

山口県支部も、高齢化と共に参加者が少なくなっています。三年前から、総会と言うよりは、江津工業卒業OB生の懇親会的な形に軌道修正をして進めているところです。

いつも役員が集まったら、高齢化のため山口県支部を解散する時期が話題に上がっており、遠くない時期にそれが来るのではないかと思います。

江工会本部の益々のご発展、並びに江工会関係者のご健康とご多幸を祈願しております。

浜田支部

江工会(同窓会)の御縁と絆をとおして

支部長 岡 本 正 友

(建築科 昭和四十六年卒業)

地元として全国で、ご活躍の江津工業高校同窓生の皆さんには、新しい年・令和二年の新春を、健やかに迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

近年は、温暖化に起因する

異常気象からの災害が多発し、日本のみならず、各国においても、甚大な被害となつていきます。

この夏は、五十年ぶりにスポーツの祭典である東京オリンピック・パラリンピックが、東京を中心に開催されます。今年こそは、災害をはじめ戦争など様々な災いが無い平和な年になるように切に願うばかりです。

さて江工会・浜田支部では、A科・M科・C科・E科の卒業生が地元に残り建設業に携わり、建築士や土木建築機械施工管理技士や工事士・技能士・オペレータ・匠など営業も含め専門の道に進み、地域産業に貢献をされています。その方々の理解もあつて、島根県建築士会浜田支部会員として、また賛助会員として入会して頂き、交流と親睦の和を育んでいます。

この度、会員から何とかオリンピック施設の視察をしたなどの要望から、東京方面の研修旅行が計画されました。

江工会浜田支部の事務局長の植田さんが、建築士会浜田支部長である事から、その御



縁から江工会関東支部に、視察のご依頼をしました。

視察は、昨年の十一月九日(土)・十日(日)の両日に実施されました。

初日は、横浜市の『みなとみらい21』と東京・『八重洲再開発事業』の現場視察を、そして竣工まじかの千駄ヶ谷にある『新国立陸上競技場』の外周を竹中工務店の福利厚生施設の最上階(十一階)から見学をしました。

またその翌日には、天皇・皇后両陛下の即位を祝う「祝



賀御列の儀」パレードが午後八時に予定をされており、その厳重な警戒の中を、『靖国神社』と『迎賓館』の見学を行いました。

江工会浜田支部と建築士会の合同の研修旅行の折には、江工会関東支部の勝田さんと西村さんそして竹名工務店の工事関係者の皆様には大変お世話になりました。

江工会の御縁と絆に改めて、嬉しく感謝するところであり、ありがとうございました。

◆ 事務局だより ◆

平成三十一年
一月〜十二月

◇二月十七日(日)

会報五十三号発行

県内外各支部、卒業生在籍地元企業、現教職員、在校生、同窓会等に配布

卒業)より式辞をいただく。

◇四月二十六日(金)

江津市役所支部総会

会館吾妻で開催されました。

◇二月十七日(日)

関東支部総会

東海大学校友会館で開催されました。

総会是小笠原支部長の挨拶、来賓挨拶、事業報告、監査報告の後、次年度の活動計画と予算案について審議が行われました。

懇親会はアトラクション

として山崎ていじ氏のコンサートで盛り上がりました。

本部より、土井正人会長、岩田泰典事務局員が出席しました。

◇二月二十八日(木)

新卒者入会式

江工入会会式

平成三十年卒業生

七十二名

江工会会長 土井正人氏

(工業化学科昭和三十一年)

の議案が承認されました。懇親会では、各支部からの出席もあり親交を深めることができました。

◇六月一日(土)

関西支部総会

ホテルヴィズスコオ尼崎で開催されました。

総会では、橋本克己支部長挨拶、来賓挨拶、事業報告、監査報告が行われました。その後、山根金造氏(機械科四十年卒業) 旭日双光章受賞の披露がありました。

懇親会時には山崎ていじ氏コンサートで盛り上がりました。

本部より、江工会副会長

◇七月六日(土)

浜田支部総会

鈴蘭別館で開催されました。

総会では岡本支部長の挨拶、来賓挨拶、事業報告、監査報告の後、次年度の事業計画と予算案、支部役員

の補充について審議が行われました。

懇親会は県内支部最多とも言える約三十名の出席の下、和気藹々とした雰囲気

で盛り上がりました。本部より、田村 実校長、岩田泰典事務局員が出席しました。

訃 報

謹んでお悔やみ申し上げます。

旧職員

- 高木 嗣夫
- 尾原 久睦

会 員

- 田中 秀雄
- 寺本 圭吾
- 南山 稔(天津)
- 大木 一司
- 中田 和夫
- 河野 邦雄
- 江木 朗
- 貝谷 万里子(寺本)
- 清井 富雄
- 牧 勉
- 三浦 貴光
- 林 清實

編 集 後 記

多忙な折り、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。お蔭さまで第五十四号を発行することができました。

なお、今後とも会報に対しましてご意見、情報等(同窓会報告、会員消息等)がございましたら事務局へご連絡をお願い致します。(事務局 三浦)



平成30年度 江工会一般会計 決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 繰越金	1,384,969	0	1,384,969	1,384,969	0	平成29年度繰越金
2 会費・入会金	777,600	0	777,600	774,902	2,698	卒業生72名分(2700円未納有り)利息分含む
3 寄付金	10,000	0	10,000	30,000	△ 20,000	関東、関西支部より
4 繰入金	0	0	0	0	0	
5 雑収入	31	0	31	916	△ 885	定期利息端数、預金利息
収入合計	2,172,600	0	2,172,600	2,190,787	△ 18,187	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 引	備 考
1 工業教育振興会費	10,000	0	10,000	10,000	0	県工業教育振興会へ助成
2 会報発行費	150,000	0	150,000	129,600	20,400	会報53号 2000部発行
3 記念品費	40,000	0	40,000	34,200	5,800	卒業生への角筒72名分
4 会館運営費助成	150,000	0	150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	35,000	0	35,000	19,168	15,832	総会案内、会報発送料
6 旅費	300,000	0	300,000	213,540	86,460	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000	0	200,000	70,000	130,000	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000	0	30,000	0	30,000	
9 雑費	30,000	0	30,000	25,540	4,460	江工後援会立ち上げ総会会場費、広告料
10 積立金	200,000	0	200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	1,027,600	0	1,027,600	0	1,027,600	
支出合計	2,172,600	0	2,172,600	852,048	1,320,552	

令和元年度 江工会一般会計 予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 繰越金	1,338,739		1,338,739	1,384,969	△ 46,230	H30年度からの繰越金
2 会費・入会金	691,200		691,200	777,600	△ 86,400	R 1 年度卒業生64名分 10800円×64名
3 寄付金	10,000		10,000	10,000	0	
4 繰入金	0		0	0	0	
5 雑収入	61		61	31	30	
収入合計	2,040,000		2,040,000	2,172,600	△ 132,600	

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予算額	補正額	補正後予算額	前年度当初予算額	増 減	備 考
1 工業教育振興会費	10,000		10,000	10,000	0	県工業教育振興会へ助成
2 会報発行費	150,000		150,000	150,000	0	会報54号 2000部発行
3 記念品費	40,000		40,000	40,000	0	卒業生への角筒64名分
4 会館運営費助成	150,000		150,000	150,000	0	江工会館運営費への助成
5 通信費	35,000		35,000	35,000	0	総会案内、会報発送料
6 旅費	300,000		300,000	300,000	0	各支部総会出席旅費
7 会議費	200,000		200,000	200,000	0	各支部への支援費
8 慶弔費	30,000		30,000	30,000	0	
9 雑費	30,000		30,000	30,000	0	広告料
10 積立金	200,000		200,000	200,000	0	定額貯金
11 予備費	895,000		895,000	1,027,600	△ 132,600	
支出合計	2,040,000		2,040,000	2,172,600	△ 132,600	